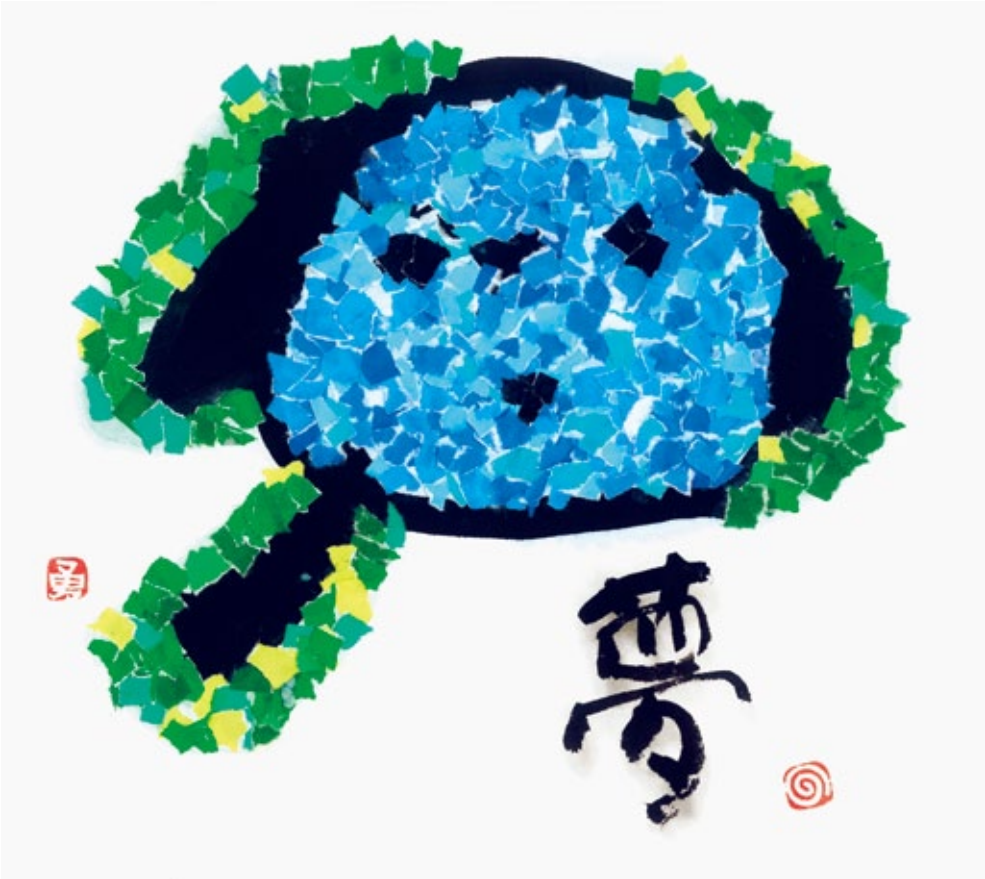

くきぶえ

第 119 号
2017年1月25日

社会福祉法人
魚沼更生福祉会
TEL (025) 793-7590
FAX (025) 793-7595
E-mail：uonumakousei@ar.wakwak.com
http://www.uonumakousei.com/

〖わかあゆ社の利用者さんの作品です〗

僕は、自閉症と知的障害の両方を持っています。色々な感覚が敏感過ぎたり、逆に鈍感過ぎたりします。聞き取る事、話す事は難しいです。苦手な事は沢山あるけれど、周りの人に助けてもらいながら、僕のできる事を頑張っています。

はり絵を始めたのは高等部２年生。先生が見せてくれた、キレイな色の優しい絵。その絵に、小さく切った色紙を夢中で貼りながら、楽しくて笑ってしまう僕でした。卒業した今は日中活動の一つです。毎週金曜日に通う『わかあゆ社』でも楽しくやっています。

【夢】わくわくしたり、へこんだりもする。でも、いつかきっと叶うから…それまで秘密の僕の夢。僕だけが知っている夢。

（承諾無く複製転載禁止）

自分のカルテ

堀之内駅前
小玉医院　院長
小玉　　誠

みなさんは自分のカルテがいくつあるかご存知でしょうか。カルテはドイツ語のカード（Karte, 英語の Card）から生まれた言葉で、診療記録のことです。医療機関を受診するたびに自分のカルテが作られます。内科診療所を受診し、次に耳鼻科医院を受診すれば、それぞれでカルテが作られます。少し前までは病院を受診すると診療科ごとにカルテを作っていました。最近では、多くの病院が院内共通カルテを作るようになりました。たくさん存在する自分のカルテは医療機関で保管されているため、普通は見ることができません。自分自身の診療情報が書かれているのに、自分では見ることができないというのは、なんだか残念な気がします。カルテには受診者の悩み、その悩みを医師がどう受け止めたか、診断、検査データ、処方内容など重要な事柄が全て記録されています。

カルテが医療機関ごとに別々

に存在することに不都合はないでしょうか。受診者が自分のカルテを見られないという仕組みは止むを得ないことでしょうか。熱のため内科医院を受診し、治らないとき、大きな病院を受診することがあるでしょう。それでもなかなか治らず、また別の診療所を受診することもあります。このようなとき、最初の医院、二番目の病院、三番目の診療所のいずれでも血液検査とレントゲン検査を行うこともあります。もちろん数日間隔で繰り返された診察所見や検査データを比べて検討することもできません。このような問題を少しでも解決するため診療情報をまとめようと工夫が始まっています。

カルテ統一の動きを生み出すきっかけは電子カルテの普及です。全ての診療情報を電子カルテに収めておけばインターネットで電子カルテ同士を接続することにより医院・診療所・薬局・介護施設などあらゆる医療機関でデータを見ることができるようになります。魚沼市ではマイネットという医療情報共有システムを立ち上げ普及を進めています。もちろんいろいろな問題点もあります。有名人が入院すれば、その人の診療内容を主治医だけでなく病院の職員誰もが見られますし、インターネットでつながれば場合によっては外部の医療機関の職員も見られることになります。また、一般の人々は電子カルテコンピュータを持っていませんので、依然として自分のカルテを見られないことになります。これに対して、もうひとつの方法が、電子カルテの診療経過を印刷してファイルに閉じ、紙カルテとして受診者が持つという方法が試みられています。この場合は全ての診療経過を自分で見ることができます。不安や不満があればそのカルテを持って他の病院を受診することが可能です。また、マイネット接続圏域を離れて、例えば長岡の病院を受診しても、あるいは日本全国どこへ行っても利用できます。

当院では開院当初より個人カルテ（通院日誌）を作って受診者に渡しています。その後、マイネットにも加入し、カルテ共有システムの理想像を模索しています。

六花園

「麹」

生活支援員
荒井　達也

麹は「人」によく似ている。そんなことを考えながら今日も加工所で、米を揉む。本格的な冬を迎え、すっかり辺りは白に染まった。味噌の仕込が過渡期に入り、職員が白い息を吐きながら慌しく右往左往する。奥からは、班員が大豆を平たく打ち付ける木槌の音が響く。利用者十二名が所属する加工班は食品の製造が主な活動だ。憎らしい雪さえなければ健脚を生かして散歩もするし、音楽や塗り絵だって、お手のものである。

味噌作りは、まず麹をつくることから始まる。いや育むというべきか。その作業は繊細で、手順はおろかその日の温度や湿度、天候によって麹はその顔を変える。これが実に難しいところで、楽しいところでもある。仕込みではへぎに一時発酵させた米麹を盛り付ける過程がある。前日に菌付けした米を揉みほぐし、全体に麹菌を行き渡らせたあと、そのパラパラの米を一塊にし中央に穴を開ける。これには訳があり、米麹が呼吸しやすいように、である。このとき、一粒でも塊から離れないように繊細な作業が必要とされる。米が一人ぼっちになってしまうと、温度が十分に上がらず麹は「糀」にならない。

「糀」は「米の花」と書く。実に、美しい字である。いくら力のある麹でも、一人で花を咲かすことは、出来ない。呼吸しやすいよう、つまりは生きやすいように、周りの力が必要である。「人」とはそういうものではないだろうか。また、その糀が味噌作りに適しているかどうか、よい糀かどうか、それを決めるのもまた「人」なのではないだろうか。きっと自然の世界ではどんな糀だって、ただの糀である。

まだまだ世間は通り一辺倒の価値観に少なからず偏向しているように、私は思うことがある。まだこの支援員という職と出合い、ひとときをみない浅学非才ながら、人として成長できるよい機会を頂いた。その中で知ったこと、改めて考えること、様々あった。味噌作りは難しい―考えながら、今日も皆さんと共に米を揉む。

かけはし

支援の現場から

サービス提供責任者　星野　泉

「行動援護」は、知的障害や精神障害のため、独りで行動することが難しい方に、ヘルパーが同行して必要な支援を行うサービスです。支援の内容は、行動上生じ得る危険を回避することが目的で、移動中の安全確保や滞在する場所での環境調整、コミュニケーション支援等です。

利用者さんは自閉症の方が多く、危険認知が苦手であったり、音に敏感であったり、独特な方法で意思表示をしたり、人それぞれ異なる行動上の特性を持っています。私たちは、利用者さんの特性についてアセスメントし、目的に沿った行動が出来るよう手順を組み立てます。障害を持っていても自立した社会活動ができるよう買物や外食、交通機関の利用等に付き添います。

「行動援護」に従事するには、研修を受けることと一年以上の実務経験が必要です。この制度が更に活用されていくことを願っています。

かけはしからのお知らせ

来年度四月から、放課後等デイサービスを始める予定で手続きを進めているところです。

魚沼市にお住いで就学中の障害を持つ子どもたちを、放課後と長期休み等に預かり、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進を行う場所です。

◎営業日と時間

・月曜日から金曜日（必要に応じて土曜日に営業する場合もある。）ただし、祝祭日及び十二月二十九日から一月三日までを除きます。

・通常時
午後二時三十分から午後五時三十分

・学校休業日
午前九時から午後四時

どうぞよろしくお願いします。

堀之内工芸

利用アンケート調査

生活支援員（主任）　諏佐　望

昨年十一月に、堀之内工芸では利用されている方、ご家族の方を対象に利用についてアンケート調査を行いました。

作業や活動等について質問をし、作業の項目では利用者の方からもっと仕事がしたい、高いお金の仕事を探してきて欲しいといった前向きな意見がありました。

家族の方からは昼食について、どんな昼食を食べているのか内容に興味があるといった意見があり、献立表の配付だけでは不十分であったなぁと感じ、さっそく、昼食の様子や内容を撮影・印刷して家族の方に配付するといった取り組みを行いました。

アンケートを通して、あっ、そうだな！と自分達が気づかされる意見もあり、とても良い機会になりました。

今回の結果を来年度の事業運営に反映していきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

生活介護へようこそ

生活支援員　佐藤　遥

堀之内工芸生活介護では、お酒やカタログギフトの箱折り、車の部品のバリ取り、封入作業などの作業を行っています。皆様それぞれの得意分野で活躍されています。

また、皆様が楽しみにされている活動も行っています。カラオケや誕生会での調理、体育館での体操やボランティアさんにお越しいただき、手話ミュージックを行っています。忘年会では「赤鼻のトナカイ」の手話ソングを発表しました。ステージでの発表はドキドキでしたが、練習の成果もあり大成功を収めました。

好きな活動を楽しみたい、作業をがんばりたい方、ご利用をお待ちしております。

忘年会での発表

カタログギフトの箱折

湯之谷工芸

実習を頑張っています

井口　梢

私は、十一月二十九日から老人施設の厨房で、実習をさせていただいています。配膳台をふき、おぼんや、はし、スプーンなどをセットしたり、食材の下処理の作業をしています。はかりを使って、野菜や乾物などのグラムをせいかくに量ることがとても難しいです。職員の方に教えてもらいながらやっています。何度もまちがえてしまい、めいわくをかけているので、家のはかりで練習したり、湯之谷工芸の職員からアドバイスをもらったりしています。早くこの作業をまちがえないでやれるようになりたいです。また、お仕事を休まないで通えるよう、体調に気をつけています。ちこくもしないように、早くねて、早く起きてじゅんびをしています。きんちょうしますが、実習でお仕事できることが、とても楽しいです。

就職出来ました

岡部　雄介

僕はわさび苑に就職しました。わさびの畑のパイプの水まわりを歯ブラシと針金を使ってきれいにしています。わさびの畑のかれた葉っぱ取りもやっています。まだまだ慣れない仕事がたくさんありますが、職員の方やせんぱい達に教えてもらいながら作業をしています。冬は雪が降っていて寒いですが、休まずに頑張ります。

就職できて良かったです

星　遼

僕は良食生活館に就職しました。毎日品物を店のたなに並べています。最初は上手にできなくて、品物がたおれてしまい苦労しました。皆さんから、やり方を教えていただき、少しずつできるようになってきました。時どき、お酒を並べる仕事もあり、とても楽しいです。仕事は、いそがしくて大変ですが、良食生活館の皆さんと、ずっと仕事をしていきたいです。

ひろかみ工芸

キッチンひろかみ弁当をご愛顧いただき有難うございます。利用者さんの声をご紹介します。

・見た目もきれいに美味しそうに盛り付けしています。午後からは、回収したお弁当箱を汚れが残らないよう隅まで見ながら洗っています。アニメソングを聞きながら仲間と楽しく作業しています。

木村　蒼

・十二月からひろかみ工芸に通っています。私の仕事は、お弁当のご飯もりです。周りにご飯がつかないよう注意しながらふんわり盛るようにしています。毎日忙しいですが楽しいです。

佐藤　藍

・ひろかみ工芸を利用して一年経ちました。初めは不安でしたが、体調を整え洗い物作業を中心に頑張っています。

櫻井　明

・少し早く出勤し作業の段取りや配達、回収を間違わないよう気を配っています。目標は、就労です。

矢久保　満

職業指導員　繁田可奈子

ひろかみ工芸では、お弁当に加え、昨年度よりバスボムの製作・販売を行っています。

バスボムとは、主に重曹・クエン酸を材料とした発泡性の浴用雑貨です。

香料に力を入れ、香料専門の会社にオリジナルの香りを作っていただきました。フローラル系の優しい香りでお客様から大変好評を頂いております。

形も花やハートなどかわいらしく、お風呂に入れる前は玄関やお部屋などに飾り、芳香剤代わりになり、二度楽しめると思います。

今後は道の駅等で販売する予定ですが、ひろかみ工芸まで連絡をいただければいつでもご用意いたします。

自分へのご褒美にもいかがでしょうか。

ぜひお試しください。

またたびの家

マイスターさん達の功績

職業指導員　山之内良太

今年度、またたびの家は新潟県優良リサイクル事業所として表彰されました。

過去の受賞者を見ると一般企業さんばかり…なぜ福祉施設がリサイクル事業所として表彰されるのか疑問に感じる方も多いと思います。

皆さんは「都市鉱山」という言葉をご存知でしょうか。鉱山と言えば佐渡金山などが有名です。かつて、金などのレアメタルは鉱山で採掘されていました。採掘されたレアメタルは私達の身近な所で携帯電話やスマートフォン、パソコンの中に多く使われています。電子機器が普及している現在ではレアメタルは無くてはならない貴重な資源なのです。そのようなレアメタルが含まれている電子機器に着目して、鉱山に例えている言葉が「都市鉱山」です。しかし、日本で不要になった電子機器のほとんどは海外に輸出されています。貴重な資源は国内でリサイクルされず、多くは海外に流出してしまっているのです。

小型電子機器を解体して資源を取り出す作業は福祉施設として前例がない取り組みでした。実際にやってみると、ドライバーを使ってコツコツと丁寧に解体する作業に利用者さんは夢中になっていました。レアメタルの海外流失を防ぎ、日本国内で貴重な資源が循環利用される重要な一翼を利用者さんは担っているのです。

徐々に腕を上げた利用者さんは自然と地域の方から必要とされる存在になっていきました。回収で出向いた現場でお客様に喜んでもらい、自信がついていくことで自分達が取り組んでいることに誇りを持てるようになっています。

これからもマイスター（職人）さんの活躍にご期待ください。

わかあゆ社

社会経験について考える事

サービス管理責任者　勝又　昌樹

わかあゆ社は四十名を超える利用登録があります。毎日平均三十名前後の方が通所しており、作業は自社事業の「喫茶ウインドー」と受託事業の「内職作業」に分かれています。喫茶店は店舗だけでなく、地域の皆様よりご注文を頂いて配達もしています。

メンバーの年齢層も十代から六十代と幅広く、心のケアを行いながら作業支援・就労支援・社会経験が積めるように日々の業務に取り組んでいます。

内職作業の様子

今回、「社会経験」（様々な意味がありますが、働いた経験だけでなく、人間関係等も含めて）について書いてみたいと思います。

私は社会経験を積むことで、豊かな生活を送る事が出来ると思います。目標に向かい生活していると、様々な悩みが生まれますが、そんな時に、人に相談する事で気持ちが楽になります。相談をする側・受ける側、コミュニケーションを取ることで人とつながりが持て、徐々に信頼関係が生まれ、お互いが成長できる「良い経験」が積めます。

しかしながら、社会経験が深い・浅いは人それぞれで、それぞれの思いで相手に伝えても、お互い理解できずに嫌な思いをし、「悪い経験」を積んでしまいます。その様な嫌な思いをしない為にも、自分の事を相手に伝える事も大事ですが、それと同等に相手の事を理解する事も大切だと感じています。

わかあゆ社の一員として皆が「良い社会経験」を積む事が出来る様に、日々の業務に取り組みたいと思います。

魚沼更生福祉会 役員及び評議員

第二十一期の役員及び評議員の改選が行われ、左記のとおり決まりました。

理事長　角屋　禮士（魚沼市和長島）
理　事　米山　文男（長岡市川口和南津）
久保田利章（小千谷市千谷川）
井口　正博（魚沼市青島）
渡部　誠一（魚沼市吉田）
上田　眞藏（魚沼市並柳）
清塚　　功（南魚沼市一村尾）
樋口　賢二（六花園長）
高橋　省三（堀之内工芸所長）
監　事　岩淵　嘉一（長岡市袋町）
桜井　勝義（魚沼市須川）
阿達　俊男（魚沼市佐梨）
評議員　江畠　康子（長岡市牛ヶ島）
瀬沼　賢一（小千谷市桜町）
小笠原都々子（魚沼市堀之内）
小川眞智子（魚沼市青島）
林　　和男（魚沼市古新田）
桜井　　忍（魚沼市大湯温泉）
佐藤　利明（魚沼市金ヶ沢）
大島キヨ子（魚沼市大栃山）
加藤佑三郎（南魚沼市上十日町）
小林　輝実（南魚沼市麓）

※社会福祉法の改正により評議員の任期は、平成二十九年三月三十一日まで、理事・監事の任期は平成二十九年四月一日以後最初に召集される定時評議員会の終結の時までになります。

（※理事は評議員を兼務します。）

法人職員研修会について

●サービスの質の向上を図るため、法人職員研修会を実施しました。

「精神障害の特性と対応について」

法人合併に伴い精神障害の特性を理解するため、「またたびの家」と「わかあゆ社」の職員を講師に、事例をもとにした支援方法等を説明していただきました。

平成28年７月６日
於：魚沼市中央公民館大ホール

「障害者虐待防止研修会」

社会福祉法人十日町福祉会の星名究氏を講師に、虐待の原因や権利擁護に対する認識の重要性など、貴重なお話を伺いました。

平成28年７月12日
於：小出ボランティアセンター

「障害者差別解消法について」

新潟医療福祉大学副学長　丸田秋男氏を講師に、障害者差別解消法を踏まえた障害者の権利を守る地域づくりについて、ご講義いただきました。

平成28年８月４日
於：魚沼市中央公民館大ホール

「働きやすい職場づくり・ハラスメントについて」

特別養護老人ホーム美雪園の鈴木園長を講師に、制度の内容に加え、ご自身の福祉経験まで貴重なお話を伺いました。

平成28年９月21日
於：広神コミュニティセンター

「人事考課制度とは…査定　人材育成　人材活用等について」

社会保険労務士・中小企業診断士の金子勉氏を講師に、人材育成の視点からの人事考課について、管理者が受講しました。

平成28年９月27日
於：六花園コミュニティーセンター

編集後記

あけましておめでとうございます。

私事ですが、昨年は自宅や野外で料理をすることが多く、週末料理人になっていました。

子どもの頃にワクワクしながら作っていた工作の感覚に近いものが料理作りにはあります。（山之内）